

令和5年度 事後評価シート

施策	27 住民の暮らしを便利にするスマート行政の実現(DX)
KGI	<p>①DXの推進による利便性・付加価値向上を実感している県民の割合 【基準値】—(令和4年)【目標値】令和8年度まで毎年向上</p> <p>②DXの推進による業務効率化・生産性向上を実感している職員の割合 【基準値】—(令和4年)【目標値】令和8年度まで毎年向上</p> <p>③デジタル総合戦略に掲げるDXの進捗率 【基準値】—(令和4年)【目標値】100%</p>

【細施策シート】

		担当部局	企画振興部								
細施策	27-2 県民向けDXの推進による利便性・付加価値の向上	施策KGI	①・③								
KGI	デジタル総合戦略のうち県民向けDXに関する戦術の進捗度										
	KGI種別	上がると良い指標	R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		
	時点・期間	R3~R4年度	時点・期間	R3~R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度	
	現状値	-	%	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %
				実績値	100 %	実績値	%	実績値	%	実績値	%
達成率				100.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%	
判定				達成	判定		判定		判定		
5年度	要因分析 【必須】	<p>第1期デジタル総合戦略(R3~5年度)のKPI「官民共創デジタルプラットフォーム(エールラボ)を活用して創出されたプロジェクト数(目標値100プロジェクト)」の達成状況を進捗度としており、プロジェクトグループ内で、対話を活性化させるコミュニティマネージャーや調整役のディレクターなどを設置したことが目標達成に寄与したと考えられる。</p>									
	改善の方向性 【必須】	<p>R6年3月に第2期総合戦略(R6~8年度)を策定したところであり、R6年度からは戦略全体の進捗度を戦略に紐づく各予算事項のKPIの達成状況を用いて定量的に把握することを検討するとともに、デジタル総合戦略本部会議において進捗度を共有するほか、引き続き外部デジタル人材からの助言や支援を活用しながら、取組の加速化を図る。</p>									